

掲載元：奄美新聞
掲載日：5月28日

福（沖永）良部（男子砲丸投げ）3位



【陸上男子砲丸投げ】12月9日で3位だった福＝白波スタジアム

「高さ」と「スピード」を生かす

男子砲丸投げ・福（沖永良部）

ヒーロー
HERO

2年生の福龍太郎が

男子砲丸投げで12月9日の自己ベスト記録で見事3位入賞。今の自分の持っているものは出せた。手応えをつかんだの表彰台だった。170センチ、90キロ。100メートルを超える選手が珍しくない砲丸投げでは小柄な方。それを補うのが回転投法で「スピード」に乗り、「高さ」のある放物線を描く投てきをする。1、2投目は良い感じの投げができていたが、最後の「押し込み」

ある。

「スピードを意識しすぎると高さが出ない。逆に高さを意識しすぎるとスピードに乗れない」難しいところがある。両方が合致した時、理想の投てきができる。

陸上を始めたのは中3から。田舎中時代は野球部員だったが、陸上の大会で砲丸投げをやってみて面白さに目覚めた。練習すればするだけ記録が伸びる。努力したら努力しただけの成果が出ることに魅力を感じて、高校は陸上に転向した。自分の特徴を冷静に分析し、良いところもうまくいかなかったところも、把握して受け止める度量がある。「今の記録ではとてもインターハイには届かない。13メートル、14メートル投げられるように練習しない」と気合を入れる。いずれは「良い結果を出して育ててくれた島に恩返しをする」のが夢だ。

陸上

（白波スタジアム）

【男子】（男子1）

0メートル△決勝 ②松

島悠斗（鹿児島3年、

金久中出身）15秒35

（砲丸投げ）△決勝

③福龍太郎（沖永良部2年）12月9日（3000）
④SCC△決勝 ⑤
孝志煌太（指宿商2年、喜界中出身）9分28秒

67 【女子】（3000）

△△決勝 ④手島凛

花（鹿児島女子2年、

朝日中出身）9分41秒

86⑨福崎心桃（同、同）

10分7秒42